

第7回（2016年度）学会認定・臨床輸血看護師試験の結果

2017年3月29日

学会認定・臨床輸血看護師制度
協議会 会長 大戸 齊
審議会 会長 田崎哲典
試験委員長 梶原道子

(1) 筆記試験

1. 実施日、会場：平成28年11月6日（日）、大宮ソニックシティ
2. 時間、内容：2時間（10：00～12：00）
多肢選択式問題40題（80点）、記述式問題2題（20点）
3. 受験者数：179名
（受験申請者180名中、欠席者1名を除く）
4. 成績：平均点79.91点、最高点97点、最低点49点、標準偏差8.62点
5. 筆記試験合格者数、合格率：173名、96.6%（173/179）

(2) 病院研修

1. 期間、会場：平成29年1月～3月において、1日間
学会認定・臨床輸血看護師制度協議会の認定施設
2. 研修者数：173名
（研修対象者は、筆記試験合格者173名と、昨年度の施設研修未了者1名の計174名であったが、1名が施設研修を辞退した）
3. 研修終了者数：173名
（施設研修を受けた173名において、不合格と判定された者はなかった）

(3) 最終認定者数、認定率：173名、95.6%

（受験申請者180名＋前年度病院研修未了者1名 に対する割合）

(4) 講評

大宮ソニックシティを会場として、平成28年11月5日（土）に講習会が、6日（日）に筆記試験が行われた。講習会は5日、13時よりスタートし、6名の講師により途中で約20分の休憩を挟み、19時まで行われた。テーマは産科婦人科、周術期、救命救急、内科、小児の各領域における輸血療法とした。筆記試験は6日に行われ、講習会参加者179名全員が受験した。結果は上記の如くで、平均点-2SDは62.7点であり、173名が合格となった。

病院研修は全国の指定施設で行われた。評価は、①輸血の意義と目的、②血液製剤の取り扱い、③輸血看護、④輸血副作用、⑤輸血検査、⑥血液製剤の準備・払い出し・管理、⑦症例検討の計7項目について、それぞれ(a)特に優れている、(b)優れている、(c)良い、(d)劣る、の4段階で行われた。総合評価は(a)38.7%、(b)55.5%、(c)5.8%で、(d)判定は皆無であった。①～⑦の項目別でも(d)判定はなかったが、(a)判定が、③輸血看護では42.3%であったのに対し、⑤輸血検査では27.1%と少なく、輸血検査に関する知識のレベルアップが必要である。

以上、病院研修を行った173名の修了が確認され、第7回学会認定・臨床輸血看護師として認定された。